


独立行政法人国立病院機構  

**松江医療センター**  
**呼吸器病センター**  
 〒690-8556  
 松江市上乃木5丁目8-31  
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019  
 URL <https://matsue.hosp.go.jp/>  
 発行責任者  
 院長 中島 健二  
 編集者  
 事務部長 前田 悟



**熊野大社**

出雲國一之宮。主祭神は素戔鳴尊（すさのおのみこと）の別称である加夫呂伎熊野大神櫛御氣野命（かぶろぎくまののおおかみくしみけぬのみこと）



教育研修部コラム

- 「さしは外においとかんけん」 …… 2～3
- サマーコンサート2019 …… 3
- 固定チームナーシング  
島根地方大会に参加して …… 4
- 「高校生一日看護体験学習会」で  
看護師を目指す高校生と関わって …… 4
- 第12回島根看護学術集会 …… 5
- 第15回中国四国地区国立病院機構・  
国立療養所看護研究学会に参加して …… 5

令和元年度島根県筋ジストロフィー協会  
療養キャンプ開催 …… 6

- 島根県重症心身障害児（者）を守る会主催  
療養キャンプin松江開催 …… 7
- ふれあいまつり開催 …… 8～9
- 開業医紹介コーナー …… 10
- 地域医療連携室だより …… 11
- 国内最大級の病院ネットワーク …… 12～13
- 外来診療表 …… 14

**基本理念** 私たちは、真心と思いやりをもって良質な医療を提供します。





～ 教 育 研 修 部 コ ラ ム ～

「さしは外においとかんけん」

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

ある日自宅にて。「さしとって！」と長男に頼んだら、「何それ？」と返されました。「さしとってってば」ともう一度言うと、「おとうさん、何を"さす"の？」とチンプンカンプンな長男。全く噛み合わない会話…。何気なく発した私の「さし」という言葉を長男が理解できていないようです。あっそっか、と気づく。「さし」とは私の地元松山の方言。「ものさし（直線定規）」のことなのです。長男は松江生まれの松江育ち。思わず出てしまった自分の方言が家族に通じないの巻、でした。

気になったので調べてみたら、「ものさし」を「さし」と表現するのは青森県上北郡、秋田県鹿角郡、滋賀県蒲生郡、京都、大阪、兵庫県明石郡、和歌山、徳島県、愛媛県、高知県。どうやらやはりここ松江では「さし」は通じないようです。しかし、島根では旧那賀郡でも「さし」という地域があるようですので、このコラムを読んでいる方の中には通じる方もいらっしゃるかもしれません。さらに調べてみると、自分の中では「ものさし＝定規」だったのですが、どうやらイコール関係でないようです。「ものさし」は線分の長短を差し測る器具。だから線引きには使用しないんだそうです。線引きに使用するのは「定規」、と実は明確に定義されているようです。知らんがな！（笑）

気を取り直して筆を進めます。その「さし」。小学生からあんだけ使ってたのに大人になったらとんと使わなくなりました。直線を引いたり、長さを測ったり。算数の問題で補助線もよく引いていました。小学校3年生のとき、30cmの竹製の「さし」を学校で買わせられました。ランドセルにギリギリ入らない大きさで、よくランドセルからはみだした状態で通学していました。まあもちろんスーパーイケズの私ですので、「さし」は時に「刀」になり、小競り合いのキッカケになったものでした…。この「さし」は実体がありますが、ここで考えてみたいのは実体のない「さし」の話。なんのこっちゃ？と思われた方、ありがとうございます。あなたがターゲットです。

誰もアドラーの言う複数の何らかの共同体に属し、そこで生きています。それは社会だったり、職場だった

り、学校だったり…。メタファーとしての「さし」の話で一番わかりやすいのはテストの成績、でしょうか。学校で何番、とか偏差値がいくつ？と言うのは正に「さし」。しかし、これはあくまで共同体内（学校内）の「さし」によるポジション把握でしかありません。学校外で何番か？は外に出てみないと、要するにその共同体を飛び出して、共同体外（という言葉があるかどうか不明ですが）の別の「さし」を用いて測ってみないと自分の位置はわかりません。松江市なら松江市全体の「さし」、島根県でのポジションを知りたければ島根県全体の「さし」、日本ではどうか？と知りたければ…（以下省略）と言うわけです。

共同体内の「さし」を用いることは悪くありません。多くの場合に適用可能で有用でしょう。隣の人と比べてみるのも悪くありません。もっともわかりやすい「さし」ですから。マニュアルなんかもそう。書いてある通りに動けばまあ安泰です。しかし、時にそれがほんまにおうとるんか？、隣の人がやとることはそれでええんか？と立ち止まって考える必要があると思うのです。即ち共同体外にある「さし」による内なる「さし」の適性評価を時々行う必要がある。それを繰り返すことは内なる「さし」の親分的な「さし」を求めて外に出る、さらにそのまた親分的な「さし」を求める、ということになるでしょう。その過程でその時点での世の中標準的なものにきっと辿り着き、ひいては真理的なものまで手に入れることができそうです。このベクトルの向きはかなり重要。ただしここまでは内から外へのベクトルの「さし」の話。

では反対に外から内へ向かうベクトルの「さし」ってどういうことか？と思われることでしょう。それは共同体の俯瞰です。俯瞰の視野の"絞り"を小さくすればそれは多分自分のメタ認知的客観的評価です。例えば学会発表。総会レベルや国際学会に自分たちのつくりあげたものを持っていく。ある程度の質の高さのものを持っていかないとそのレベルには耐えられません。ここまでは前述の内から外のベクトルです。いざ世の中に問うた後にベクトルの方向が逆転し、俯瞰ができる感覚を得ると思えます。ただね、1回でその感覚はなかなかできない。



何度か繰り返す必要があります。「あぁこれで良かったんだ」とか「まだまだできてないわ」とか。私はこの感覚を持っていること、持とうとすることが重要だと考えています。例えば自分は講演に呼んでいただくことが多いのですが、どこかで講演している時、講演の後に誰かの質問に答えている時、現地の先生方と交流している時、内なる「さし」と自分が外にしている「さし」が行ったり来たりして「さし」が調整されていく感覚があります。ベクトルが内に向いたり外に向いたり。正直これはかなりおもしろい。

もちろんその共同体内の「さし」は大事です。大事にしないとイケません。基本の「さし」ですから。しかしその「さし」の正しさ、についてはもう一つ外にも「さし」をおいておかないと、判断ができないのではないかな？と思うのです。だから内なる「さし」を磨くことが大事。それには外に出ること。で、外からベクトルを内に向けて俯瞰できるようにすること。でもまぁみんな忙しい。

実際に外に出ていくことはそれほど叶わなかったとしても、「さし」は外においておくことはできます。意識次第です。気になることがあれば本を買って読んで見たり、ネットで調べるってのもいい。外の「さし」から共同体を、もうちょっと絞って自分を俯瞰してみる。そうすると自分がやってることがほんまにそれでええんか？的ツッコミが始まる。ツッコミが始まると、何かが変わる。つまらなかったことが意外と面白くなったりする、はず…。ってなことが言いたかったので今回はこんなタイトルで書いてみました。タイトルの「おいとかんけん」は松山弁で「おいてみたらどうですか？」という意味。ほっこりしていい方言でしょ？

「さし」は外においとかんけん、ええことあるぞなもし。とおから思ってたことだいが書いたけんどなごなつたけんえかげんこなへんでおしまいにしとこわい。ほんなら。

## サマーコンサート2019

3階病棟 野白 万由子

平成から令和に元号が変わり、気づけば8月になりました。今年も8月20日に「サマーコンサート2019」を開催しました。演奏は広島を中心にご活躍されている、ヴィオラ奏者の沖田孝司さん、妻でピアノ奏者の沖田千春さんをお招きし、素敵な演奏を披露していただきました。今年は参加していただいた入院患者さん、ご家族さんに春から冬にかけて季節の移り変わりをイメージした曲目を演奏していただき、季節折々の素晴らしさを参加者の方々に体感していただきました。演奏を聞いておられる方の中には、曲に合わせて手をたたいておられる方や、歌を歌っておられる方の姿もあり、みなさん思い思いの時間を過ごしていただきました。曲目に合わせて、沖田ご夫妻からの楽しいお話も聞かせていただき、参加者のみなさんから楽しそうな笑い声なども聞かれました。

今回サマーコンサートを企画させていただく中で、開催のポスターを院内に掲示した際に、入院患者さんから「今年も開催するんですね。楽しみにしています。」と声をかけてくださいました。院内で長い間療養されている方々にとって、このサマーコンサートは1年の中で楽しみにされているイベントの一つであることを改めて実感しました。コンサート終わりには参加者の方々から「楽しかった。」「よかったよ。」と言っていただきました。

今回の「サマーコンサート2019」を開催するにあたり、たくさんの方々のご協力をいただきました。本当にありがとうございました。この経験を活かし、みなさんが楽しく有意義に過ごしていただけるようなイベントを企画し、開催していこうと思いますので、次回のイベントもみなさんのご参加を心からお待ちしています。ありがとうございました。



## 固定チームナーシング島根地方大会に参加して

2階病棟 療養介助員 石倉 恵介

6月に浜田医療センターで行われた第22回固定チームナーシング研究集会に参加しました。

私は「重症心身障がい児者への個別ケアの導入によるよりよいケアの提供」というテーマで、患者さん個々に行った散歩、本や新聞の読み聞かせ、音楽を聴くといった個別性を重視した内容のレクリエーション実施により、患者さんにみられた反応、または、この経験を生かしたスタッフのケアの質の向上についてスライドを交え発表を行いました。

その他各病院での取り組みが4題発表され、どの取り組みも課題に対し様々な視点からのアプローチが行われており、また、技術的、心理的、時間的な部分での工夫が随所にみられ、とても興味深いものばかりでした。そのなかでも最も印象的だったのが「爪ケアの知識・技術を習得し、安全な爪ケアを行う」というものでした。爪の肥厚・変形、巻き爪の改善という課題に対して、フットケアの資格者を講師に勉強会を行い、また電動やすりの使用をメンバー間でお互いの爪で実践し、看護師側、患者側を体験するなどし、最終段階として開始前とケア開始4か月後の爪の比較写真が紹介されると、見違えるほど改善された爪の状態に会場では歓声が起きるほどでした。

情報交流会では「固定チームナーシングで看護の良さを感じよう」というテーマのもと、各病院のスタッフと会話する機会が設けられ、そこでは自分が勤務する病棟で実施している活動について紹介し、工夫している点、または現時点での問題点などを話し合いました。お互いが日頃異なる環境で働くため、様々な視点でその問題について考え、また多種多様な意見が飛び交いとても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

今回この研究集会に参加し、固定チームナーシングについてより深く学ぶことが出来ました。成果責任と継続性のある看護・介護を提供するためにケアシステムを活用し、コミュニケーションの良い小集団活動のチーム力がいかにそのシステムで有効になるかを学ぶ良い機会となりました。今後は、ここで得た情報、知識を自らが働く現場で還元していきたいと思えます。



## 「高校生一日看護体験学習会」で看護師を目指す高校生と関わって

4階西病棟 副看護師長 小田 聖子

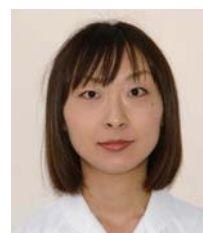
今回、初めて広報委員として「高校生一日看護体験学習会」で高校生と関わりました。

体験学習の高校生は、朝の受付の時は皆緊張した面持ちでしたが、白衣に着替えると少し嬉しそうな表情となり、とても初々しく感じました。まず、国立病院機構の概要や当院の説明、看護師になるための進路選択についての説明や、山根老人看護専門看護師による実際の活動などの体験談を聞いた後、病棟での看護体験を行いました。

私の所属する4階西病棟では、高校生同士での血圧測定や車いす体験、入院患者さんとのコミュニケーションや、手浴・散歩移送などを行っていただきました。血圧測定では、説明を一生懸命聞いて実施していました。患者さんとのふれあいでは、患者さんが快く受け入れて下さり、手浴では初めおそろおそろという感じでしたが、患者さんの「気持ちいいわー。生き返ったようだわー。」という言葉と笑顔に、高校生も笑顔でケアを行っていました。

私の担当した高校生は「家族に医療関係者がいるからなんとなくなりたいと思った」、「子どもの頃入院していた時の看護師さんに憧れて」等理由は様々でしたが、皆「看護師になりたい」と強い意志を持っていて、講義も体験学習も真剣な姿勢で臨んでいたのがとても印象的でした。私自身も看護に向かう姿勢を見つめ直す良い機会となりました。

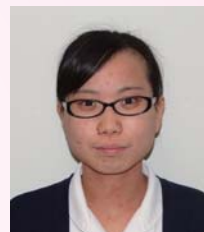
短い時間ですが高校生に現場を知ってもらうことで、看護師として一緒に働く仲間が一人でも増えたら、と思います。





## 第12回島根看護学術集会

3階病棟 万波 早織



7月13日に出雲のビッグハートで「重症心身障害児者のショートステイを受ける看護師の思い」についての看護研究の発表をしました。様々な症例発表があり、研究のまとめ方や視点など違った方向から症例を聞く事ができ、自分の考え方の幅を広げる機会にも繋がりました。聴講の学生から、「重症心身障害児者看護」に対して今までイメージができなかったが、発表を聞いて少しイメージができた、感想をもらい、自分たちの発表で少しでも多くの人に重症心身障害児者看護について知ってもらえる事ができたと嬉しく思いました。

私たちは日々緊張感を持ちながらショートステイの方の看護を行っています。その中で家族の思いを汲み取りながら、どうしたら看護に反映できるのか、在宅と同じような環境で過ごして頂けるのか病棟スタッフでカンファレンスをしながら関わっています。患者様の事を知るうえでは、家族との信頼関係が一番大切です。今後は、研究結果を踏まえ病棟と家族との信頼関係の構築に繋がっていきたいです。

## 第15回中国四国地区国立病院機構・ 国立療養所看護研究学会に参加して

1階病棟 看護師長 山田 成功

9月7日、酒処として有名な広島県東広島市西条駅の目と鼻の先、「東広島芸術文化ホール くらら」で、第15回中国四国地区 国立病院機構・国立療養所 看護研究学会が開催されました。今回、私はポスターセッションで座長を務めさせて頂きました。中四国管内の病院が集まる学会で、座長という大役を任せられ緊張していました。しかし、主催担当者や発表者、会場の聴衆の方々の協力で、なんとか大役を務めることができました。

また、私が勤務している1階病棟の看護研究発表もありました。発表者となったスタッフは、1年以上前から研究計画を立て、まとめたものをポスターとして作成し、発表練習を行い、頑張って準備してきた演題をポスターセッションで無事に発表することができました。発表者の堂々とした姿勢に、「私も座長を頑張らなければ」と力をもらいました。

座長と研究の共同研究者として学会に参加し、他施設の取り組みを見聞きすることで良い刺激を受け、非常に有意義な時間となりました。他施設の取り組みを参考に、今後の自部署の看護の質が向上するよう励みたいと考えています。



# 令和元年度島根県 筋ジストロフィー協会 療育キャンプ開催

療育指導室長 野津 悦子

日本筋ジストロフィー協会は、病気の根本治療の開発促進などを大きな目標として、当院に入院・外来通院されている多くの患者さんが会員として活動しておられる団体です。

その会が昭和50年から毎年開催されている「日本筋ジストロフィー協会島根県支部 療育キャンプ」は今年で45回目を迎えました。開始当初より、当院は協会とともにこのキャンプの運営等に携わっています。

今年は7月13日から1泊2日の日程で、会員の方や協会関係者、当院の職員など総勢19名で当院及び鳥取市で開催されました。当院での学習会では、筋ジストロフィーの方の食事についての講義と、自動寝返り支援ベッドについての説明を受けました。バランスの良い食事や快適な睡眠は健康な生活に欠かせないとあって、会員の皆さんの関心も強く、たくさんの質問や意見交換がなされていました。

学習会が終わると大型バスに乗り込み、松江医療センターを出発。今年の目的地は鳥取市の「わらべ館」と「砂の美術館」です。初日に訪問したわらべ館では、幼い頃に遊んだおもちゃの見学やこま回しができ、幼少期にタイムスリップしたように楽しそうに遊ばれる姿はとても印象的でした。

その後、宿舎で個別相談会を行い、日常生活で困っていることへの対応、取り入れられるリハビリなどについて、在宅での生活に生かしていただけるよう職員がアドバイスしました。

翌日は鳥取砂丘のすぐそばの「砂の美術館」へ出かけました。館内には砂と水だけで作られたという高さ5メートルにも及ぶ迫力ある砂像に皆さんビックリ!!南アジアをテーマにした21点の作品はとても精巧につくられていて「すごいね〜」「どうやって作るんだろう」などの声があちらこちらからあがっていました。

この療育キャンプは、研修はもちろんですが、年に1回、在宅の会員の方々が再会し、親睦を深め、また、新しい1年を前向きに過ごすための活力にもなっているように感じます。今回も参加された方々といろいろな話をし、一人ひとりにとって、とても大切な療育キャンプであることを再認識した2日間でした。今後もこのような活動が続くよう、支援していきたいと思っています。

開催にあたり、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。





# 島根県重症心身障害児（者）を守る会主催 療育キャンプ in 松江開催

療育指導室 児童指導員 安達 浩史

全国重症心身障害児（者）を守る会（以下「守る会」）は「最も弱い者をひとりももれなく守る」という基本理念に基づき、地域・施設活動などを行っている団体です。今年で創立55周年を迎えた「守る会」。その島根県支部が主催した、「療育キャンプin松江」が8月8日に当院で開催されました。

暦の上では立秋ですが、名ばかりの残暑厳しい当日、療育訓練室には患者さんとご家族が集まり賑わいました。

演目はフルートの生演奏と、よさこい踊りの二本立てです。会長からの挨拶の後、いよいよフルート演奏のはじまりです。「にじいろ」、「ひまわりの約束」といったJ-POPから、「見上げてごらん夜の星を」、「日本の子守歌メドレー」といった懐かしの名曲などバラエティー豊かな曲目をフルートで奏でられます。フルートの音色は「小鳥がさえずるよう」と形容されます。まさにその通りの、森にすむ小鳥のさえずりに出合ったようなその音色に、この時ばかりは暦どおり「涼風至る」を感じることができました。療育訓練室での演奏の後はお部屋回りもしていただきました。パッチリと瞳を開いて、うっすらと笑顔になる患者さんと、ご家族の柔らかい笑顔が印象的な演奏会となりました。

続いて、斐川町のよさこいチーム「友輪舞人」さんの登場です。華やかな衣装をまとい、パッチリとメイクをした演者さん。夏休み中の子どもさんの姿も見られます。パチパチと鳴子の爽やかなリズムと「ハー、ソレッ、ヨー!!」などのかけ声が響き合い、エネルギッシュで華麗な踊りが披露されました。「かわいいね〜」、「たくさん練習したんだろうね」「すごいな?」などと言った声が聞こえ、元気とパワーをいただいたよさこい踊りでした。

「守る会」の基本理念の意味、重みを噛みしめ、その想いを引き受けながら、これからも、患者さんにとってより豊かな時間を過ごしていただけるよう療育活動をしたいと思いました。開催にあたり、「守る会」をはじめとしてご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



# 松江医療センターふれあいまつり



## 晴天のもと開催

庶務班長 星原 昌美

令和元年10月5日（土）に毎年恒例の「松江医療センターふれあいまつり2019」が穏やかな青空のもとで開催されました。令和となって初めての「ふれあいまつり」となりました。新しい試みとして、毎回3階大会議室で行っていた市民公開講演会が1階放射線科横でミニ講演会と形を変えて行われて多くの聴衆で大盛況となりました。

オープニングはかわいらしいベレー帽とマーチングバンドの衣装を身にまとった乃木保育所の園児による鼓笛隊と旗の演奏で盛大に盛り上げていただきました。小さな体が大きな太鼓を抱える様子はとても健気である一方、その奏でる音はそのルックス以上に大変迫力がありました。



普段はお薬を仕分けする分包機を使ってお菓子の詰め合わせをする調剤体験には大変多くの子供たちが集まり大盛況でした。オリジナルのお菓子袋を楽しそうに機械を操作して作る姿にテレビゲームや最近普及しつつあるVR（バーチャルリアリティ）などの疑似体験では味わえない臨場感を感じました。こうした実体験が子供たちの将来の夢のきっかけになったり、進路の参考に活かされたらとてもうれしいです。

## “ものわすれ?と思ったら” “その咳大丈夫” のテーマでミニ講演会を開催しました!

教育研修部 副部長 古門 千代美

市民公開講演会部門は、今年度初めてミニ講演会として1階の放射線科横の待合、外来ロビーで開催しました。深田脳神経内科医長による“ものわすれ?と思ったら”というテーマで認知症についての講演を行いました。続いて“その咳大丈夫”と題し、門脇教育研修部長・呼吸器内科医長による講演をしました。短時間でしたが、たくさんの方々にご参加いただきました。ご参加有難うございました。





## 健康部門 手術室

手術室 堀田 茉寿美

手術室は、「肺の中を覗いてみよう」というテーマで、恒例の気管支ファイバーを使って人形の肺の中を観察する体験を企画しました。今年は、人形の肺の中に動物の可愛い小さな消しゴムを入れ、鉗子で掴んで取ってもらう体験も加えました。参加者は2人1組になり、画面を見ながら動物（消しゴム）を助けに行くような気持ちで挑んでいました。気管支ファイバーや鉗子の操作は、想像以上に難しかったようです。簡単に掴めるように掴めず、掴んでも途中で動物（消しゴム）が落ちてしまうアクシデントもありました。無事に取り出せた時には、私たちも一緒になって喜んで盛り上がりました。たくさんの方に参加していただき、子供から大人まで楽しめる企画となり大成功に終わりました。ありがとうございました。



## きらめき部門

療育指導室長 野津 悦子



今年もきらめき部門は患者さんの実行委員とともに準備を重ね、音楽演奏などを催す「きらめきステージ」、普段の療育活動やリハビリテーションで作成された作品を展示・販売する「作品展示・即売コーナー」、患者さんが普段取り組まれている七宝焼の創作などの活動を体験してもらう「療育体験コーナー」を設けました。

当日はたくさんの方に来場していただきました。

地域の方に当院に長期に渡り療養されている患者さんの日頃の取り組みを知っていただいたり、患者さんがご家族やボランティアの方と一緒にイベントを楽しんでいただいたりの楽しい一日になりました。今年もたくさんのボランティアの皆さんに多大なるご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



## 模擬店部門

企画課 伊東 育美

模擬店部門では、当院職員とボランティアさんとで協力し、焼きそばやフランクフルト、スーパーボールすくいなどの模擬店を運営しました。今年は天候にも恵まれ多くの方に来店していただき、大盛況となりました。来店して下さった患者さんやそのご家族はもちろん、ボランティアで来てくださった地域住民や学生さんなどの笑顔も見ることができ、多くの方に楽しい時間を過ごしていただけたのではないかと思います。



病院というと暗いイメージをお持ちになる方も少なくないかと思いますが、このイベントを機に松江医療センターの笑顔溢れるあたたかな雰囲気を感じていただけたならば仕事冥利につきます。

この度はたくさんの方々にご協力・ご来店いただきまして誠にありがとうございました。



# 開業医紹介コーナー

病病・病診連携 No.27

## 医療法人 三浦医院

今回は、当院を紹介させて頂く機会をあたえていただき、大変有り難うございます。いつも、国立病院機構松江医療センターをはじめ、松江市内の病院や診療所の先生方には適切な診療、アドバイスをいただき大変感謝しております。

当地東出雲町揖屋にはご縁があり、祖父母の頃から町内で医業を営んでおりました。

40年前に現在の場所に移転し、私共夫婦が帰郷したのち、医療法人三浦医院となり15年が経過しています。

現在、私と妻の2人で診療を行っておりますが、ともに佐賀大学の出身で大学の合唱部で知り合い現在に至ります。私は大学卒業後、鳥取大学産婦人科に入局し10年間産婦人科医として勤務した後、鳥取大学第2内科に転科し、松江市立病院を始め山陰各地の病院で10年間ほど研修させていただきました。妻は鳥取大学皮膚科に入局させていただき松江赤十字病院などでご指導いただきました。

医療を取り巻く環境は今まで以上のスピードで変化しています。皆様方のお力をお借りしながら、日々の診療に当たりたいと思います。これからもよろしくお願い致します。



医療法人 三浦医院  
 院長 三浦裕和  
 医師 三浦美穂



診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
AM 9:00～12:30	●	●	●	●	●	●
PM 3:00～6:30	●	●	●		●	



連絡先  
 松江市東出雲町揖屋1178-6  
 ☎0852-52-3739





# 地域医療連携室だより 第34号

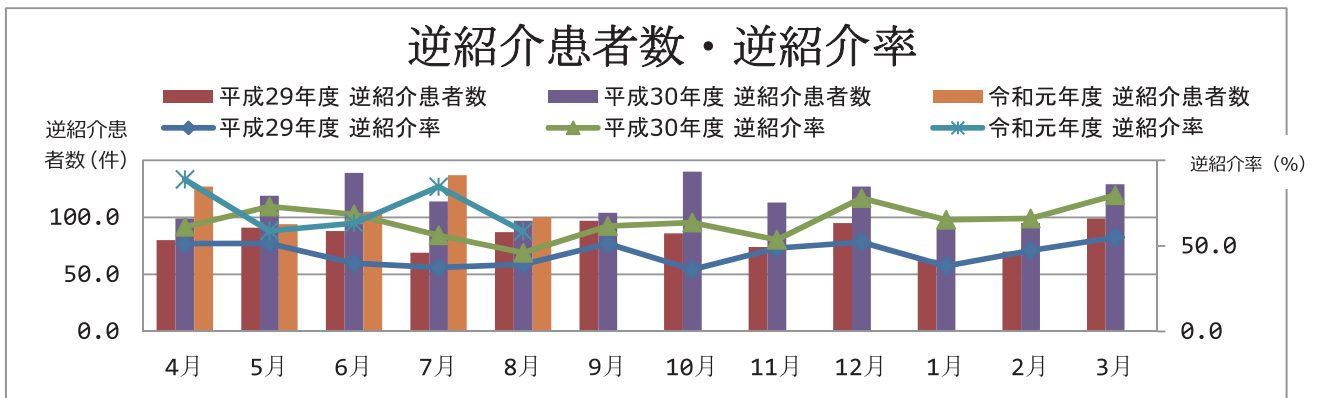
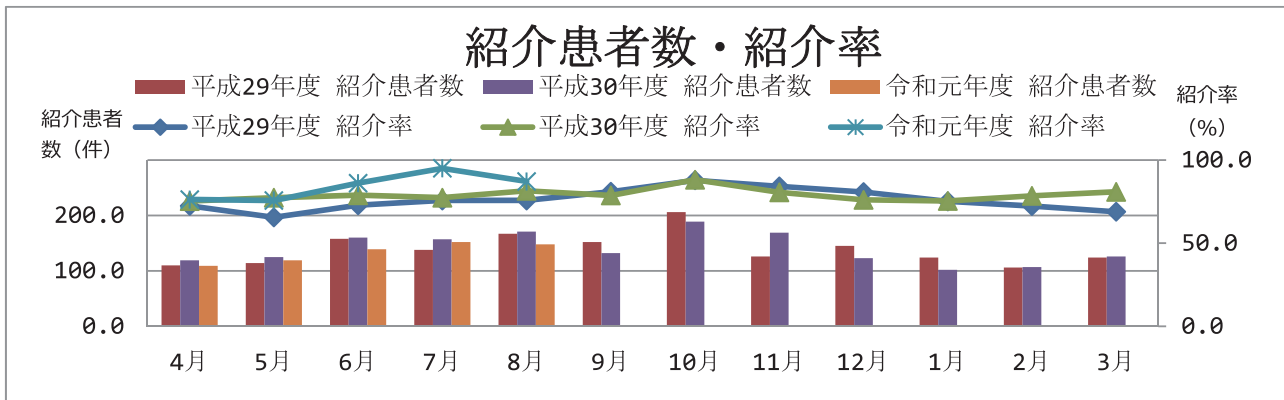
2019年10月



## 【時間外の対応について】

呼吸器疾患で緊急にご紹介いただく患者さまに  
つきましては**24時間対応**させていただいておりますので  
夜間・休日に関わらず下記にご連絡ください。  
☎0852-21-6131 (代表) または 0582-24-7671 (地連)

### 1. 紹介患者数・紹介率／逆紹介患者数・逆紹介率の推移



### 2.退院支援データ 毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています。
















































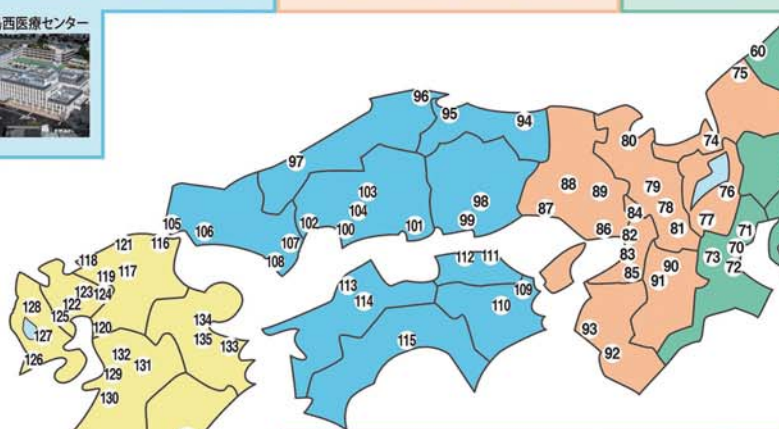







		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退院支援患者 (人)		194	178	198	201	201							
退院先	在宅 (人)	112	83	111	120	104							
	施設 (人)	1	2	1	2	2							
	病院 (人)	16	7	7	13	10							





※逆紹介率とは、当院から開業医さんや他の病院へ紹介させて頂いた患者さんの割合です。  
逆紹介率＝逆紹介患者数÷初診患者数(休日、夜間の救急患者数を除く。)





# 国内最大級の病


132.熊本再春荘病院 	120.大牟田病院 	103.東広島医療センター 	95.米子医療センター 	88.兵庫あおの病院 	81.南京都病院 	74.教賢医療センター 	67.東名古屋病院 				
133.大分医療センター 	121.福岡東医療センター 	104.賀茂精神医療センター 	96.松江医療センター 	89.兵庫中央病院 	82.大阪医療センター 	75.あわら病院 	68.東尾張病院 				
134.別府医療センター 	122.佐賀病院 	105.関門医療センター 	97.浜田医療センター 	90.奈良医療センター 	83.近畿中央胸部疾患センター 	76.東近江総合医療センター 	69.豊橋医療センター 				
135.西別府病院 	123.肥前精神医療センター 	106.山口宇部医療センター 	98.岡山医療センター 	91.やまと精神医療センター 	84.刀根山病院 	77.紫香楽病院 	70.三重病院 				
136.宮崎東病院 	124.東佐賀病院 	107.岩国医療センター 	99.南岡山医療センター 	92.南和歌山医療センター 	85.大阪南医療センター 	78.京都医療センター 	71.鈴鹿病院 				
137.都城医療センター 	125.嬉野医療センター 	108.柳井医療センター 	100.呉医療センター 	93.和歌山病院 	86.神戸医療センター 	79.宇多野病院 	72.三重中央医療センター 				
138.宮崎病院 	126.長崎病院 	116.小倉医療センター 	101.福山医療センター 	94.鳥取医療センター 	87.姫路医療センター 	80.舞鶴医療センター 	73.柘原病院 				
139.鹿児島医療センター 	127.長崎医療センター 	117.九州がんセンター 	102.広島西医療センター 					58			
140.指宿医療センター 	128.長崎川棚医療センター 	118.九州医療センター 						57			
141.南九州病院 	129.熊本医療センター 	119.福岡病院 						60			
142.沖縄病院 	130.熊本南病院 							75			
143.琉球病院 	131.菊池病院 							61			
								68			
								66			
								70			
								72			
								71			


113.四国がんセンター  



111.高松医療センター  


109.東徳島医療センター  


115.高知病院  


114.愛媛医療センター  


112.四国こどもとおとなの医療センター  


110.徳島病院  






外来診療表

お気軽にご相談下さい

令和元年11月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	専門領域	
呼吸器内科		岩本(初)	多田(初)	木村(初)	門脇(初)	池田(初)	【呼吸器内科】 矢野 修一 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 多田 光宏 岩本 信一 西川恵美子 坪内 佑介 【副院長】呼吸器一般(肺循環・肺がん・結核他) 【統括診療部長】呼吸器一般	
		多田	小林	岩本	西川	木村		呼吸器一般
		矢野	門脇	池田	坪内	小林		呼吸器一般
循環器内科						生馬	呼吸器一般	
脳神経内科		中島	古和	深田	足立	交替制	呼吸器一般	
			下山		細田		呼吸器一般	
呼吸器外科		荒木		目次		荒木	【循環器内科】 生馬 勲 循環器一般	
		大島				大島		
小児科 発達 専門外来		久保田 (予約)	齋田 久保田 (予約)	齋田 (予約)	久保田 齋田 (予約)	齋田 (予約)	【脳神経内科】 中島 健二 足立 芳樹 古和 久典 細田 義人 下山 良二 深田 育代 【院長】脳神経内科 【臨床研究部長】脳神経内科 【診療部長】脳神経内科 脳神経内科・リハビリテーション 脳神経内科 脳神経内科	
	予防接種		(予約)					
麻酔科 腰痛外来				西村 (予約)			【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之 大島 祐貴 【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科	
特 肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		
殊 睡眠時無 呼吸外来					呼吸器内科 担当医(予約)		【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害	
	息切れ 外来		呼吸器内科 池田(予約)					
外 喘息 アレルギー外来						池田 (予約)	【麻酔科】 西村友紀子 麻酔科領域	
	咳嗽外来					池田 (予約)		
来 禁煙外来					毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30 独立行政法人 松江医療センター 国立病院機構 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661	
	アスベスト 外来		多田 (予約)	木村 (予約)	門脇 (予約)			
その他 もの忘れ外来				深田				
その他 セカンド オピニオン外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		

特 殊 外 来	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～17:00 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,400円
	睡眠時無呼吸外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息アレルギー外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：毎週木曜日 10:00～12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9:00～12:00 神経難病外来
	もの忘れ外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
	小児科発達専門外来	診療日：毎週月～金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかダイケアでの遊戯療法も行っています。
腰痛外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。	
セカンドオピニオン外来	診療日：(完全予約制) 紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科(筋ジス)の専門医(医長)が担当いたします。	